

郡内の消防力が集結

上益城郡消防大会が本町で開催



郡内の団員が集結した開会式

7月23日、上益城郡消防大会が町民グラウンドで開催され、郡内5町から約300人の消防団員が集結し、日ごろの訓練の成果を披露しました。この大会は、各町消防団の団結の強化と士気の高揚などを目的に毎年開催されているもので、ことは本町が会場となりました。

大会は、益城町消防音楽隊の演奏に合わせ、各町の堂々たる分列入場

行進で開幕。団員たちがグラウンドに整列すると、幸隆一益城町消防団長が力強く総指揮者宣言を行いました。また各町の退団団長へ感謝状が贈られ、本町では前団長の高野裕司さん(寺中)に贈られました。そして各町がそれぞれ「通常点検」を行い、士気の高さと規律・動作の正確さを披露すると、会場からは大きな拍手が送られていました。



日ごろの訓練の成果を披露した益城町消防団の通常点検

地域福祉を知事と語り合う

「くまもと夢トークin上益城」で蒲島知事が来町

8月5日、県内のさまざまな分野で頑張っている人と県知事がひざを突き合わせて語り合う「くまもと夢トーク」が、小規模多機能型居宅介護事業所「いいの」(高本征子代表、木崎)で開かれ、蒲島郁夫知事と平成22年度上益城地域福祉塾受講生5人が地域福祉について語り合いました。出席したのは、高本さんのほか、民生委員でバンド「みゆき&オートルズ」を結成し地域サロンなどで音楽を提供している徳山秀人さん、相



知事を囲んで意見を交わす参加者たち



蒲島知事も終始笑顔で対応

手の話を目・耳・心で聴き、心に寄り添う「傾聴ボランティア」を続ける徳永恵美子さん、町社会福祉協議会ボランティア担当の松本亜矢さん、町社会福祉協議会事務局長の國元秀利さん。

トークでは、参加者一人一人が、それぞれの立場から見た地域福祉の現状を説明し、高齢者などを地域全体でサポートしていく体制づくりや市街化が進む地域とそうでない地域のコミュニケーションの違いなどについて活発な意見が交わされました。